

# 水のじゅんかん

わたしたちの生活や工場などで使われた水は、西原浄化センターできれいにして海へ流されます。海の水は、やがて蒸発して雲となり、雨をふらせます。雨は、川に流れこんだり、地下にしんとうします。そこからくみ上げられた水は、ふたたび私たちの生活や工場で使われます。これを「水のじゅんかん」といいます。

下水道は、この水のじゅんかんの中で、わたしたちが使った水をきれいにして、海にもどすという大切な役割を持っています。



## 下水道の役割

### ① 海や川をきれいにする。

下水道は、トイレや台所などで、使った水を各家庭から下水道(汚水管)で集め、西原浄化センターに運んできれいにします。

### ② 雨水が低いところにたまらないようにすること。

まちに降った雨で浸水被害がでないように、下水道(雨水管)で川や海まで運びます。

### 0.8パーセント

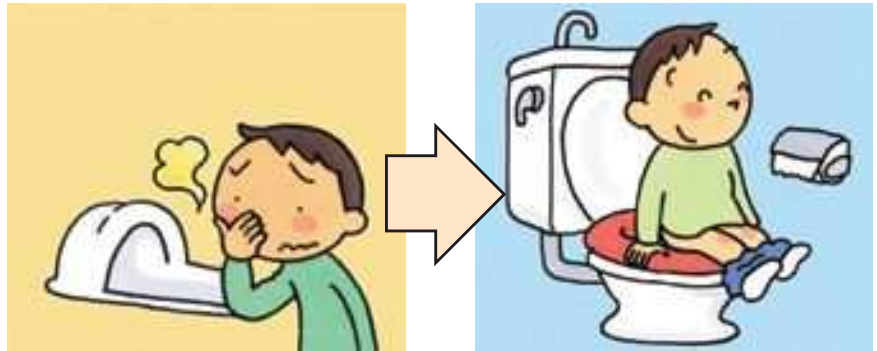
→地球上の97.5パーセントは海水で、真水は2.5パーセントしかありません。そして、そのほとんどが南極・北極の氷であるため使える水は、0.8パーセントほどしかありません。

国土交通省「日本の水資源」より

# 下水道ができると

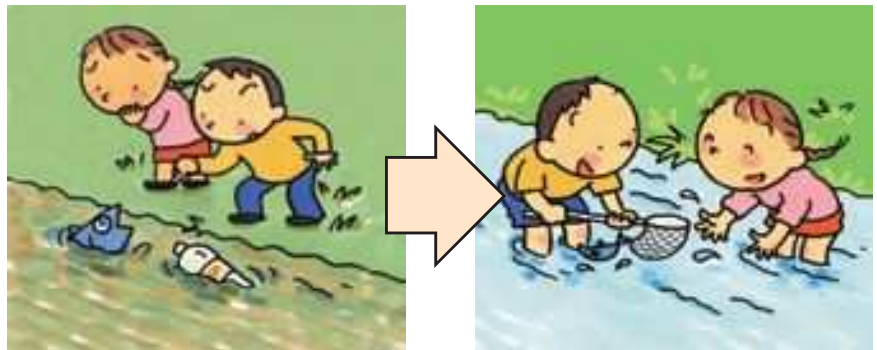
## 水洗トイレが使えます

くみ取り便所は非衛生的であるばかりでなく悪臭に悩む原因になります。また、し尿浄化槽（にょうじょうか）からのたれ流しも悪臭の原因になります。下水道が整備されると、し尿浄化槽がいなくなり、衛生的でさわやかな暮らしが実現します。



## 水路や海がきれいになります

家庭や事業所から排出される汚れた水が水路や海に流れ込むことがなくなり、澄んだきれいな水になります。



## 清潔できれいな街になります

下水道が整備されると、汚水の垂れ流しや生活雑排水の道路側溝への放流がなくなり悪臭や蚊、蝇、ゴキブリなどの発生を防ぎ快適で住み良い環境になります。

